



北斗句会

令和六年三月定例会(六日)

五十音順 尊は特選 石田きよし選

天神の木々の目覚めや梅の花 大崎石州

春愁や胸中のひと夢に立つ 太田黒幸風

尊 園庭や遊具を濡らす春の雪 大森康正

春の日や役満の神つひに笑む 川崎きこう

あたたかや猫背して切る足の爪 竹内雲泉

球春の音沖繩の野を染むる 田中資凡

尊 古雛添ふる遺影に笑まひをり 長池豆陽

尊 交番の留守居のごとく紙雛 藤田紀潮



野遊びの子ら風となり好き勝手 石田きよし